

当院の卒前教育について



新病院建設予定

卒前教育の理念

- セラピストには臨床・教育・研究スキルが必要である。
- 卒前教育に関わることは、スタッフの教育スキルの向上につながる。
- 実習生がいることで、患者もよりよい治療を受けることができる。
- 学生指導において正統的周辺参加と認知的徒弟制度を重視する。
- 認知スキルを高めるために2人1組での実習を行う。
- Evidence Informed Practiceを実践する

病院概要

- **三次救急**指定病院
- 病床数：417床
- 診療科：26科（内科、糖尿病内分泌内科、心身医療科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、消化器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科）

当院で経験できること

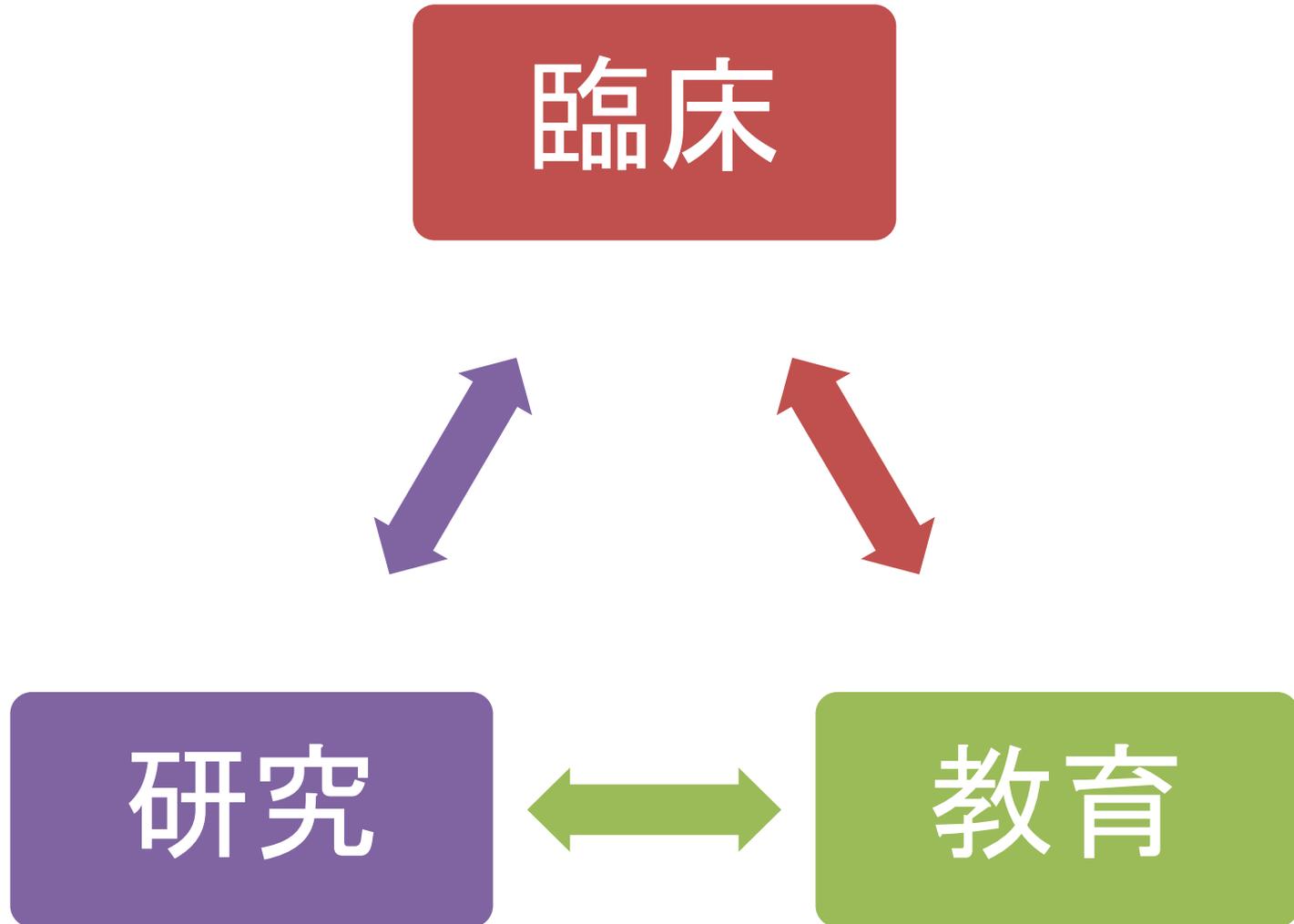
- **急性期**の理学療法を経験できる
- 総合病院なので、脳血管、整形外科、内部障害を**総合的**に経験できる
- 地域の公立病院なので、大学病院等に比べて在院日数が長く、**急性期から亜急性期**の理学療法を経験できる。
- 整形外科疾患、心疾患、呼吸器疾患、小児に対して**外来での理学療法**を経験できる

リハビリテーション科体制

- リハビリテーション科医師1名
- 理学療法士18名（正規職員12名，レジデント6名）
- 作業療法士4名
- 言語聴覚士2名

レジデントは1-2年目のスタッフが中心です。各チームのリーダーは認定理学療法士です。

理学療法士に必要なスキル



当院の実習のコンセプト

Triple-win

患者



診療の質の向上
リスクの軽減
学生用患者や被検者ではない



RPT

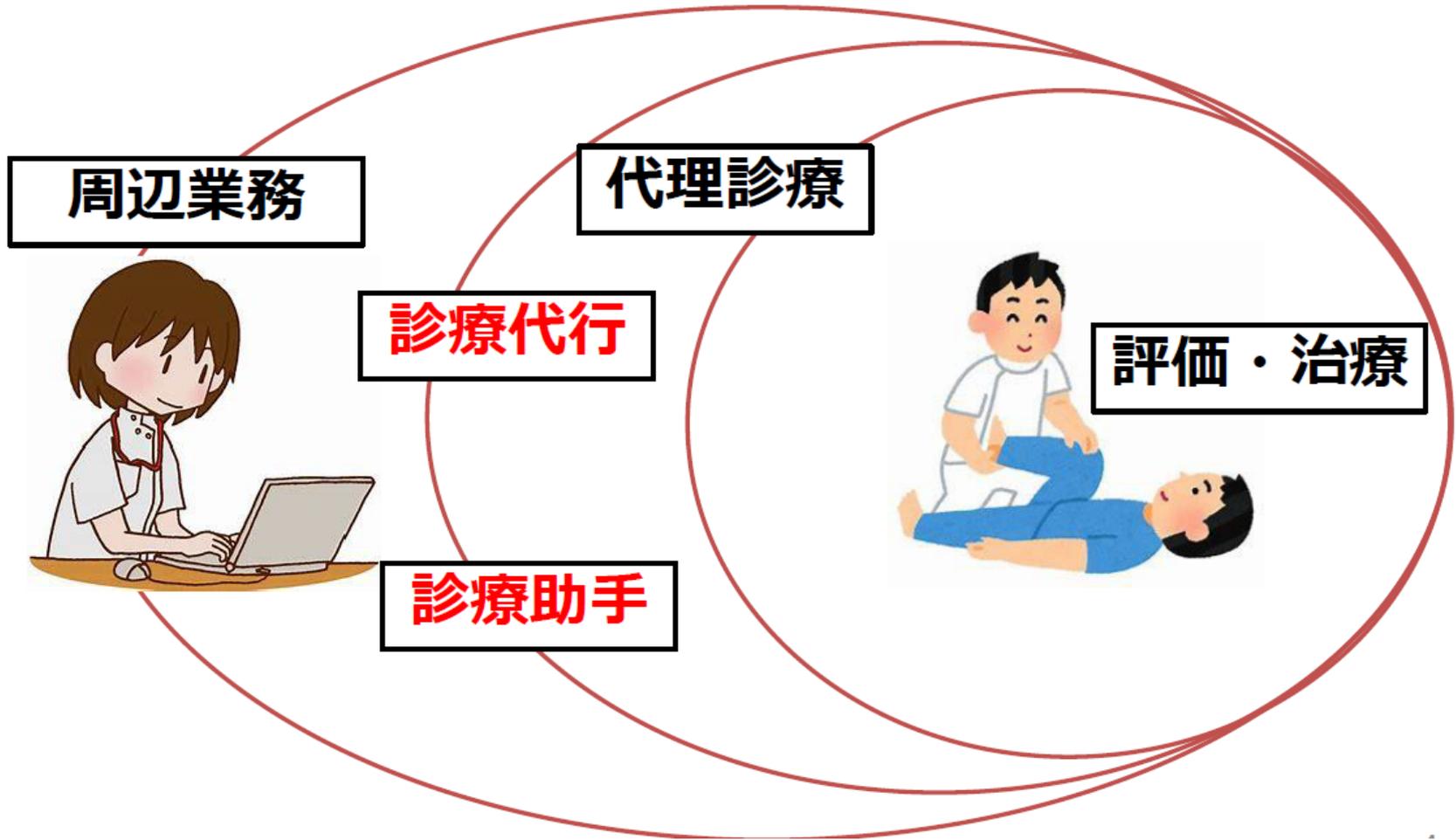
教えるための準備による
再学習
業務負担の軽減

学生



指導者の知識や技術を学ぶ
認知的徒弟制
正統的周辺参加

正統的周辺参加の促進



できるところから診療に参加する

認知的徒弟制度の実際

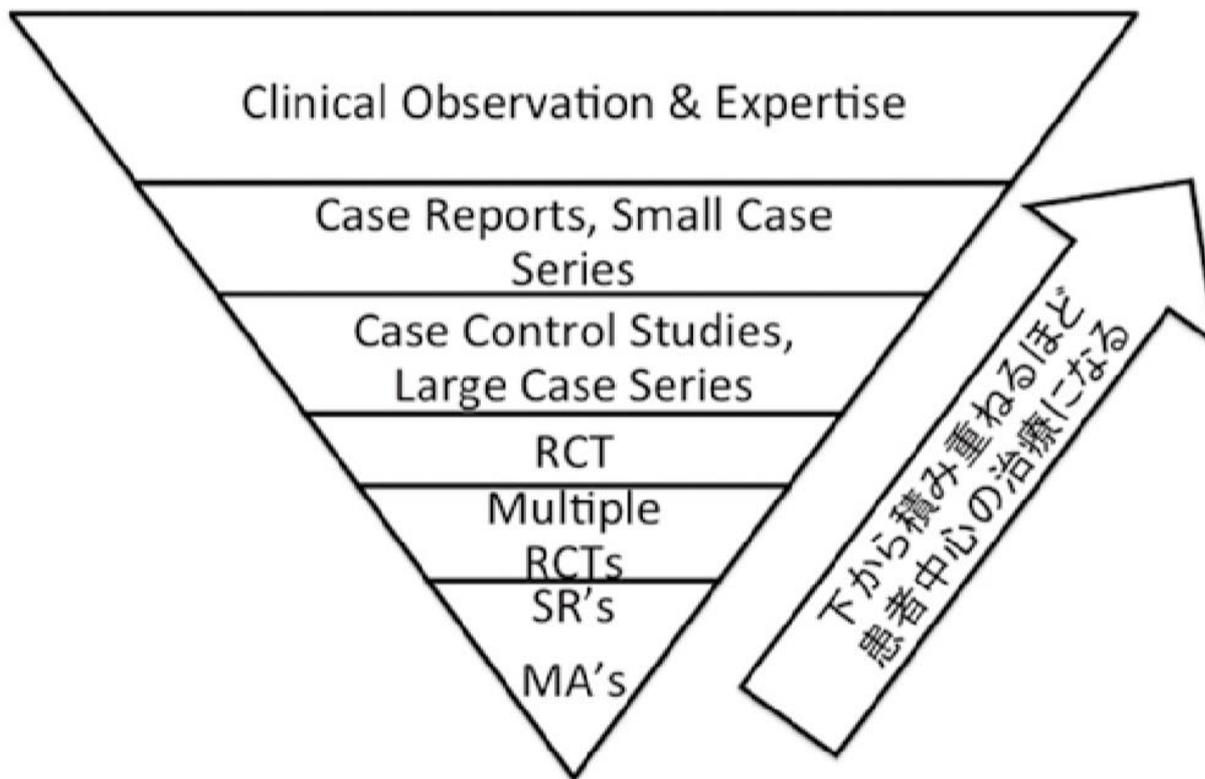
- 手本を示し手とり足とり教える（見学）
- 不足部分を補いながらやらせる（模倣）
- 大丈夫だと判断したらそっと手を放し、見守る（実施）

2人1組での実習



学生2人でペアとして実習を行う

臨床実践



RCT: ランダム比較試験 SR: システマティックレビュー MA: メタアナリシス

図 2. Evidence Informed Practice ピラミッド¹⁾

EIPピラミッドに準じて指導する